



港区立高松中学校 学校だより<第8号>

令和6年1月31日 校長 中山 幸子

創立1949年(昭和24年)

〈高松中生のあたりまえ〉推進校

港区高輪1-16-25

令和6年を迎えて

令和6年になりました。みなさんは年頭に何を思いましたか。

今年は辰年です。十二支にあてはめると竜(龍)ですが、唯一の想像上の動物ですね。

中国の『漢書 律曆志』では、辰は「ふるう、ととのう」を意味する「振」で、**陽気が動いて万物が振動し、草木もよく成長して形がととのった状態**を表すと解釈されています。

また、辰(竜、龍)は**権力や隆盛の象徴**として、**出世や権力に大きく関わる年**といわれています。

上記の太文字をイメージしながら、次は龍(竜)にちなんだことわざを紹介します。

雲は龍に従い、風は虎に従う

竜の水を得る如し・竜が雲を得る如し・竜に翼を得たる如し

竜の額の珠を取る

中学生の皆さんなら、この漢字を見て何となく意味を読み取れるのではないのでしょうか。

特に2番目の3つは同じ意味をもちます。まさしく『文字の如し』で分かりやすいですね。

さらに、四字熟語も紹介しましょう。

「竜章鳳姿」竜のように勇壮で、おおりのように気高い姿をしていること。内面の充実が外面に現れた優れた風采(ふうさい)をいう。

「龍気衝天」強い意志や勢いが天に達するほどであることを意味する。氣勢が盛んで、世に大きく名を馳せるさまをいい、野心や決意を表現するのに用いられる。

「臥竜鳳雛」まだ世に知られていないが、将来大成することが期待される人物を指す。臥竜は隠れた才能を持つ人物、鳳雛は若くして才能がある人物を表す。

「雲蒸竜変」雲が湧き起こり龍が勢いを増して変幻自在に活動する意から、英雄豪傑が時運に乗じて出現し活躍するさまをさす。

「龍鳳呈祥」瑞々しい出来事や吉兆を意味する。龍と鳳凰が共に現れることから、繁栄や幸福を象徴する。

パワーがあり、さらによくなっていく様、成功、大成、頂点に立つというようなものに用いられる龍(竜)ですが、生徒たちには「自分に納得できる」「今を前向きにとらえていこうとする自分」であってほしいと願います。生徒全員が、自分の龍(竜)に乗って大きく羽ばたける1年にしていきたいと思います。

なお、本校は令和6年度から学校運営協議会及び地域学校協働本部が設置される予定となっております。

学校と保護者や地域の方たちと高松中学校をよりよい学校にするとともに、生徒一人ひとりの成長を支えていきたいと思っております。

保護者、地域、関係機関の皆様、今年もどうぞよろしくお願いいたします。